

(令和2年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：低コスト植林に適した小型・軽量「コンテナ苗」の開発

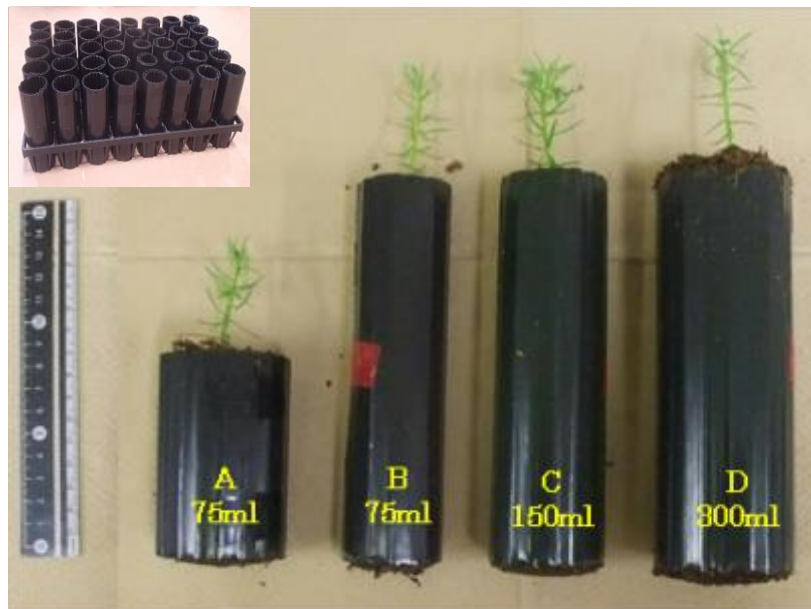
研 究

コンテナ苗小型化の試み

近年、マルチキャビティコンテナと呼ばれる細長い容器で苗木を育て、土ごと植栽できるコンテナ苗が、植林用の苗木として注目されています。畑で育苗した普通の苗木と比較して、コンテナ苗は根が多く、また土ごと植えるため「植栽が容易」「植栽時期を選ばない」「植栽初期の成長が早い」といった長所があります。しかしながら、コンテナ苗は、鉢の容積が150～300mlと、普通の苗木より重く、かさ張り、運搬効率が悪いことが課題となっています。

そこで、ドローン運搬に適したコンテナ苗を開発するため、鉢の容積を2分の1（75ml）に小型化する研究を実施しています。

現在、マルチキャビティコンテナの一種でサイズを自由に変えられるMスターコンテナを用い、鉢の深さを縮めたもの（A）、太さを縮めたもの（B）に、発根促進処理の有無や施肥量を変え、数種類のコンテナ苗を育苗しています。また、比較用として150ml（C）と300ml（D）のものを育苗しており、来春、山林に植栽、成長量等を調査し、小型化に適した育苗法を開発する予定です。



Mスターコンテナ（左上）。試験しているコンテナサイズの比較。

農 林 セ ン タ ー （ 森 林 技 術 セ ン タ ー ）